

その他の地震



関東大震災のような大きな地震は、他にも起きたことがあるのかしら。



右の表は、関東大震災までに発生し、大磯に被害を与えたと考えられる地震だべえ。具体的な被害は記録が残っていないからわからないけど、おそらく大磯にも被害があったと考えられるべえ。



昔のことを詳しく知ることは難しいのね。

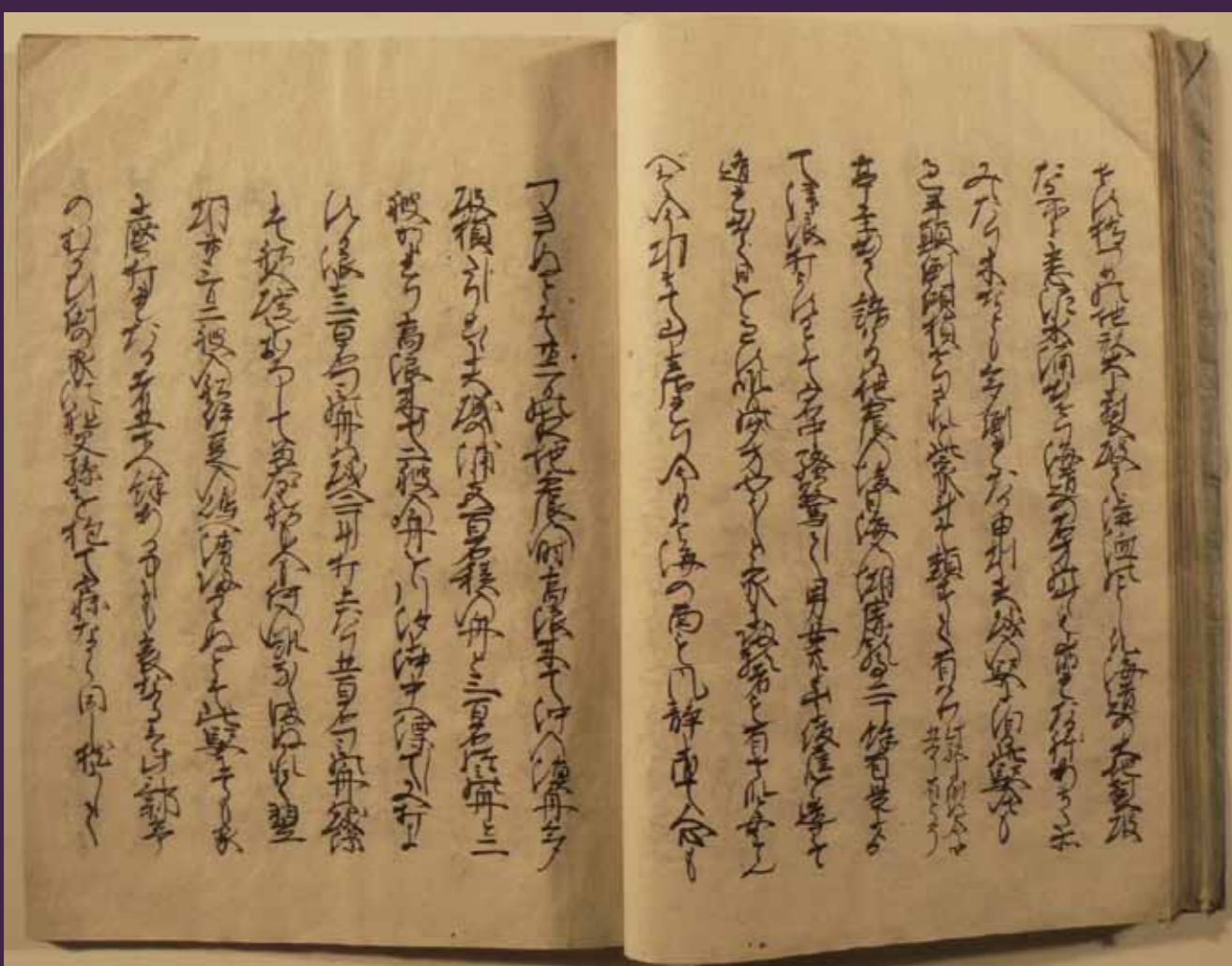
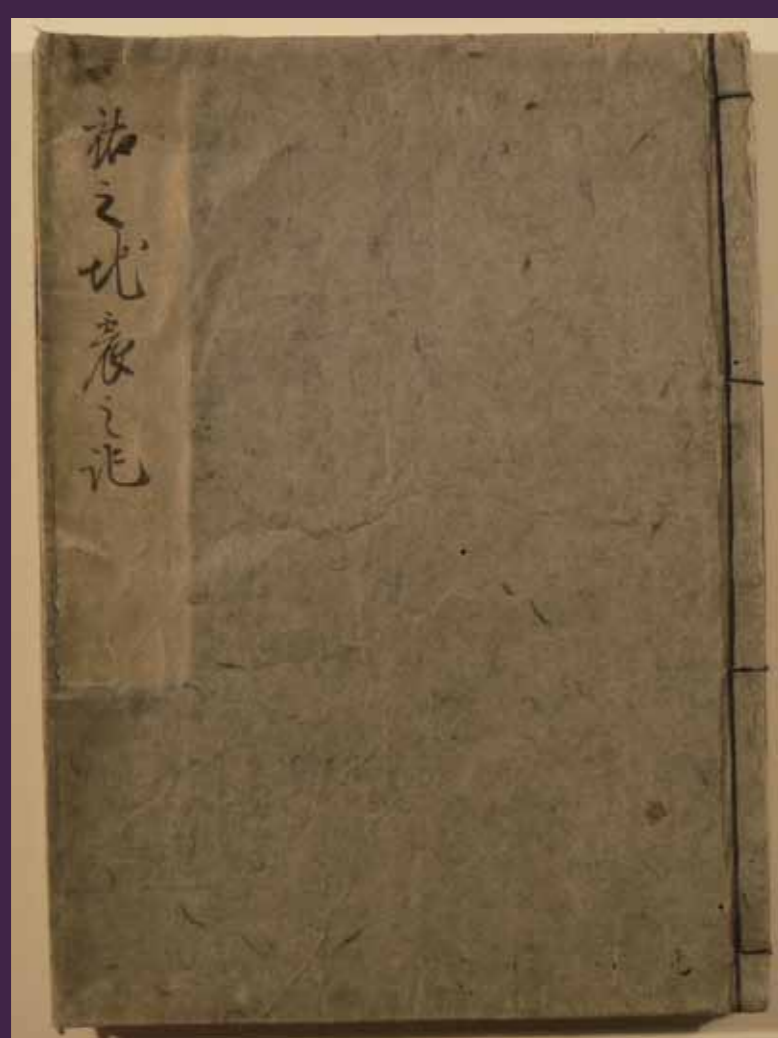


ただ、江戸時代に起こった元禄地震は、たまたま地震直後に東海道を通った人が日記をつけていて、大磯の被害状況がわかるんだべえ。

西暦	和暦	災害	地震規模
1498年9月11日	明応7年8月25日	明応地震：東南海・東海地域中心。沿岸部で津波の被害。	M8.2～8.4
1614年11月26日	慶長19年10月25日	慶長地震：会津、小田原、駿河、奈良、大阪、松山で津波の被害。	-
1703年12月31日	元禄16年11月23日	元禄地震：現在の神奈川、東京、千葉中心。犬吠崎から下田沿岸に津波の被害。数千人死亡。	M7.9～8.2
1707年10月28日	宝永4年10月4日	宝永地震：死者2万人、潰家6万軒、流出家2万軒。東海、南海沖震源。	M8.4
1782年8月22日	天明2年7月14日	天明小田原地震：相模湾西部震源。箱根、大山、富士山で山崩れ。熱海に津波か。	M7.3
1853年3月11日	嘉永6年2月2日	小田原辺りを震源。小田原の被害大。山崩れあり。	M6.5～6.7
1854年12月23日	安政元年11月4日	安政東海地震：関東から近畿に被害。千葉から高知に津波被害。	M8.4
1855年11月11日	安政2年10月2日	安政江戸地震：江戸で被害大。	M6.9

『大磯町史』9別編自然、『日本歴史災害事典』等を参考に作成

すけ ゆき じ しん みちのき 「祐之地震道記」



表紙と大磯の被害が書かれている部分。
(川崎市市民ミュージアム所蔵)



国学者の^{なし き すけ ゆき}梨木祐之が書いた「^{すけ ゆき じ しん みちのき}祐之地震道記」のことね。



この日記によると、大磯では町内の過半数の建物が倒壊し、建物の下敷きになった人が50人ぐらいいたべえ。国府地区の方は倒壊した建物があまりなかったみたいだけど、^{きりとおし}切通と呼ばれるところでは、^{やまくず}山崩れによって地蔵堂が埋まり、お坊さんが2人亡くなったべえ。



花水川の付近では液状化と見られる現象も記録されているわね。



大事なことは、津波のことが記録されていることだべえ。当時の大磯の人の話によると、地震の後、潮が約200m引いて、高波が来たんだべえ。沖に500石積（約75t）の船と300石積（約45t）の船が止まっていたんだけど、300石積の船が磯へ約200m打ち上がったみたいだべえ。